

# 災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の整備事業費

令和6年度概算要求額 **7.9 億円** (6.7億円)

資源エネルギー庁資源・燃料部  
燃料流通政策室

## 事業の内容

### 事業目的

災害時には、住民生活や復旧活動を支えるガソリン・軽油等の燃料供給拠点となるサービスステーション（以下「SS」）の機能を確保することが重要になる。そのため、近年頻発する災害等を踏まえ、SSの災害対応能力を更に強化することを目的とする。

### 事業概要

(1) SSにおける災害対応能力強化に係る設備導入支援  
災害時に備えたSSにおけるガソリン、軽油等の石油製品の十分な在庫量を確保するための地下タンクの入換・大型化、ペーパー回収設備の導入、災害時に緊急車両等に優先給油を行う中核SSの自家発電設備の入換を支援する。

(2) 緊急時の石油製品供給に係る研修・訓練等の支援  
災害時に円滑な対応ができるよう、緊急車両等へ給油訓練等を行う災害時対応実地訓練及び自家発電設備の点検研修等の実施を支援する。

## 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

(1) SSにおける災害対応能力強化に係る設備導入支援



(2) 緊急時の石油製品供給に係る研修・訓練等の支援



## 成果目標

災害時において本事業で支援を行ったSSのうち営業可能なSSの稼働率100%を目指す。